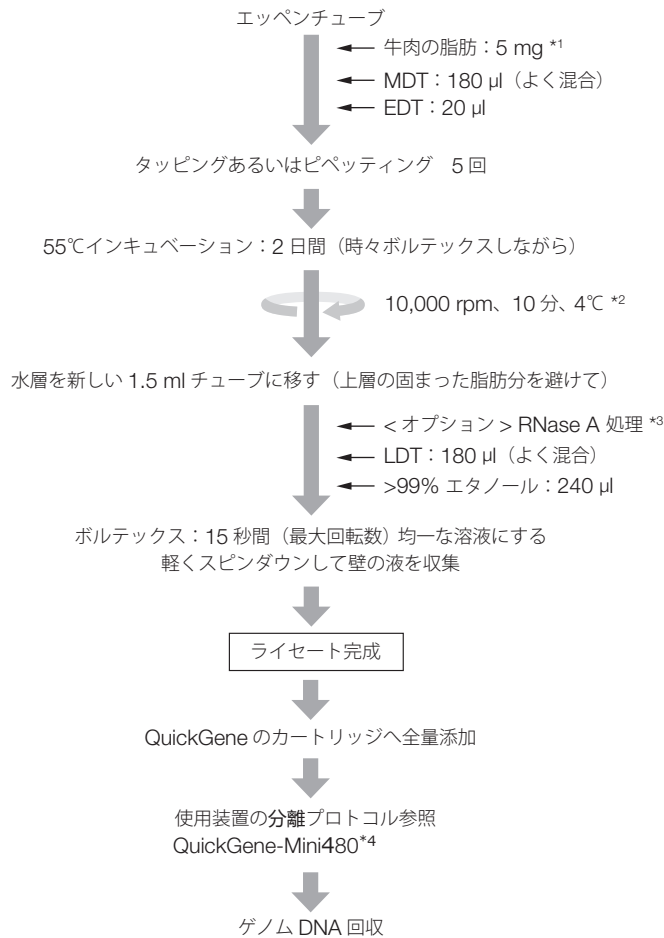


## 牛肉の脂肪からのゲノムDNA分離

## プロトコル



\*1 (250 mg まで可能であることを確認済) 多すぎるとカートリッジ詰まりや溶解不十分などの原因となります。条件が決まるまで必ず秤量してください。

\*2 代替案：  
速心 (10,000 rpm、室温、3分)。  
水層を新しい 1.5 ml チューブに移す。  
\*5 mg の脂肪の場合のみ。

\*3 オプション  
RNase A (100 mg/ml)：20 µl  
タッピング 5回 (酵素液が混ざっている事を確認する)  
軽くスピンドアウンして壁の液を収集  
室温で 2 分間反応

\*4 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

## 結果

## 電気泳動図

データなし

## ゲノム DNA の収量

	収量 (µg)
250 mg	1.82
5 mg	0.47

## タンパク質の混入：A260/280

データなし

## カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

## その他

データなし

## 共通プロトコルサンプル

データなし